

古代文字ダンス(古代文字之舞) 【足の巻】解説



立命館大学 白川静記念
東洋文字文化研究所

立命館大学白川静記念
東洋文字文化研究所

1. はじめに

「古代文字ダンス（古代文字之舞）」は、漢字の成り立ちやつながりについて、ダンスを通して「体感」していただくことを目的として制作しました。

漢字の学習は、繰り返し書いて覚える方法だけでなく、その原理を理解することが大切です。漢字の世界は、語源（成り立ち）と系統（つながり）があり、いろいろな漢字が密接に結びついています。

動画には、「見てみよう（鑑賞版）」と「やってみよう（実践版）」があります。そのうち、「やってみよう」では、衣装は簡素なものを着用し、踊り手の動きが分かるようにしてあります。この動画を見ながら動きをまねてみましょう。

2. ダンスの流れ

「足の巻」では、次の漢字の成り立ちをテーマにしています。

①交 ②往 ③止 ④出 ⑤跳 ⑥歩 ⑦走 ⑧先 ⑨急 ⑩企

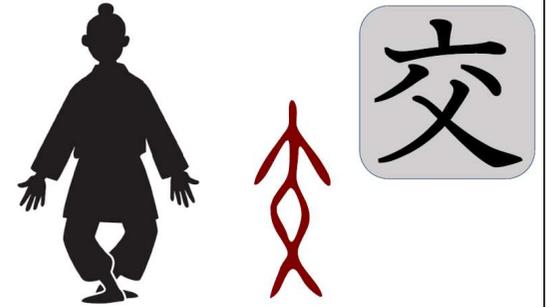
一つの漢字について、「ダンス→となえことば」で構成されています。「となえことば」は、漢字の成り立ちを簡単な文で覚えやすくまとめたものです。

ダンスは、もちろんうまくできることに越したことはありませんが、ダンスの動きを通して漢字の成り立ちとつながりを「体感」することが目的です。まずは、気に入った部分や自分にできそうな部分から始めていき、だんだんとつないでいきましょう。

つぎに、それぞれの漢字の成り立ちを解説します。

①交

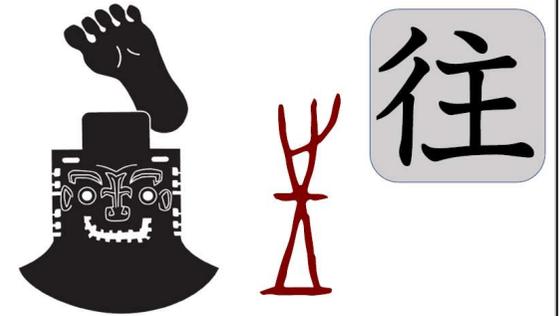
両足を交えたすがたの 交の文字



前を向いて手を広げ、足をクロス(交差・交叉)させている姿です。「𠂇十父」のようにも見えますが、「父」は右手で棍棒を持つ形です。部首が「𠂇」の字には「亡・交・京・亮」などがありますが、「𠂇」に共通する意味はなく、検索用に建てられた部首です。

②往

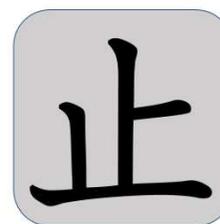
まさかりに 力をもらう 往の文字



「往」の古代文字は「」で、**王の権威の象徴であるまさかりの形**である「王」の上に**足の形**である「之」が乗っている形です。後に十字路の形「行」の左側の形である「彳」を加えて「いく」意味を強調しました。王の命令で旅に出るときに、神聖なまさかりに足を乗せる儀式をして、**その力を身に移したので「いく」意味を表すようになりました。**

③ 止

足あとの 形をつけて 足止める



「止」の古代文字は「」で、**足の形・足あとの形**です。もとは「いく」意味を表していましたが、地面を強くふんばって「とまる」「とめる」ことを表すようになりました。「**止**」は**足に関する**ことの**基本の字**で、「」や「」などのパーツになっています。

④出

足形の 内から外へ 出るすがた



「出」の古代文字は「」。足の形の「止」にかかとの跡が強く残る形。足を強く踏み出すことを表します。「出発する、出る、行く」ことを表します。

⑤ 跳

亀の甲羅が はじけるように 跳びはねる



「跳」は、「足」と「兆」との組み合わせです。「足」の古代文字は「𠂔」で、足の形の「止」とひざの形または足首からももまでの形の組み合わせで、脚(あし全体)を表します。「兆」の古代文字は「𠂔」で、亀の甲羅で占いをするときに熱ではじけてできたひび割れの形です。激しくおどりがあがるようにとぶことが「跳」です。

⑥歩

右足と 左の足で 歩き出す



「歩」は、もとは「歩」と書き、古代文字は「」です。右足と左足の形で、「あるく」ことを表します。日本だけ「歩→歩」と一画増やしました。

⑦走

二つの手 大きくふって 走り出す



「走」の古代文字は「𠂔」で、「大」と「止」との組み合わせです。「大」は両手を大きく振って走る姿で、足の形である「止」と組み合わせて「はしる」ことを表します。足を三つ書いた「𠂔」という字もあり、これは「奔」という字になりました。

⑧先

先頭を 行く人のこと 先の文字



「先」の古代文字は「𠂔」で、「止」と「人(儿)」との組み合わせです。「止」は足あとの形で、人の上に「止」を加えて「さきに行く」「まっさきに行く」ことを表します。

⑨急

追いつこうと 急ぐ心を 表すよ



急

「急」は、もとは「急」と書き、古代文字は「𠄎」で「及」と「心」の組み合わせです。そして「及」の古代文字は「𠄎」で、「人」と「又」との組み合わせです。追いかけて手をのばして今にもつかもうとしている様子を表したのが「及」で、「およぶ、おいつく」ことを表します。そして人に追いつこうと「いそぐ、せく」心を表したのが「急」です。

⑩ 企

つまさき立ち 遠くを見つめ 企てる



企

「企」の古代文字は「𠂔」で、「人」と「止」の組み合わせです。人がつま先立ちして遠くを見ている様子です。この姿勢をするときは、何かを計画するときなので「くわだてる」意味を表します。日本語の「くわだてる」も「くわ(かかと)+たてる」からできた言葉だと考えられています。

詳しくは

『立命館大学 白川静記念東洋文字文化
研究所ホームページ』をご覧ください。



[http://www.ritsumei.ac.jp/
acd/re/k-rsc/sio/](http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/sio/)

ホームページQRコード

